

審判部取り決め事項

●服装等について

- アンダーストッキングとソックスを合わせて2枚着用のこと。
(平成27年全日本大会より適用。平成26年7月21日監督幹事会にて決定済)
- ユニフォームは統一し、ロングパンツはゴムの入ったものを着用、裾を絞りアンダーストッキングを見せること。
- 靴は同色の物を着用のこと。
- スコアラー、代表者は私服、スポーツウェアで品位を損ねないものを着用し、ベンチ入りする者は、チーム統一の帽子を着用のこと。
(子供たちをケアするお母さん2名は除く)
- サングラス原則着用禁止 (審判員の許可を受けた者は除く)

●試合前の練習について

- 試合前ノック (バットの使用) は第一試合の当該チームのみ可とする。
(シートノック除く)
- 試合前のグラウンド内練習は監督 (30番)、コーチ (29番、28番)のみ可 (背番号を見せること) とする。

●選手について

- 選手使用の手袋は、ポケットに全部納めること。
- ボールボーイはヘルメット着用を厳守すること。
(球審にボールを手渡す際はヘルメットを取らない)
- 捕手と控え捕手はプロテクター、マスク (スロットガード付) ヘルメット、レガース、ファウルカップ着用のこと。
- 選手整列の際は帽子を取らない。
- ランナーコーチはベンチ内でヘルメットをかぶってから、出ること。
- 相手チームへの野次は厳禁。

●応援 (観客席) について

- 決められた場所で応援すること。
- ネット裏は試合当該チームの関係者は立ち入り禁止 (ビデオカメラは可)
- ベンチ内、観客席でのマナー (暴力、暴言等) に対し注意、指導しても改まらない場合は、退場もあり得る。
- 鳴り物、メガホンの使用は認めるが、自チーム攻撃中のみ使用可。マナーを守り必要以上の使用禁止。
- ベンチ入り以外のチーム関係者は、観客席等から自チームの選手に指示を出すこと禁止する。

●その他

- 各面に第4審判員を配置する。第4審判員は当該試合の審判員の1人で、判定、アピール、確認に対し助言する権限を有する。
- 監督は、ピッチャーマウンドへの行き帰りを駆け足で行うこと。
- 試合前、試合中を問わず、グラウンド内での投球練習、キャッチボールは大人が相手をしないこと。
- チーム側からの「パークだ！」等のコールは禁止する。
(パークは当該審判員が決めることで、アピールはない)
- 投手が投球動作に入った時、攻撃側ベンチ (応援席を含む) は"威嚇"するような大声を出してはいけない。
- 試合中の携帯電話の使用やベンチを出ての喫煙は禁止。当該試合のベンチ入りが認められない場合もあり得る。
- ファウルボールは水で洗い、きれいにして球審に返すこと。
- バックネット前のファウルボールは攻撃側の選手が取りに行くこと。
- 2試合目以降の練習 (グラウンド内、外野) は、試合の妨げになる場合は禁止する。